

第5回
会議報告

小長井ナビ

～小長井の今をナビ(案内)する 小長井の未来をナビ(案内)する～

2月28日(火)、第5回小長井ナビ会議が小長井文化ホールで開催されました。週前半のお忙しい中、6名のメンバーに集まっていただきました。

そして前回の事業計画案でいちご班から空き家の活用の話が出たので、今年度から空き家利活用コーディネーターとして活動している地域おこし協力隊の木下隊員もスペシャルゲストで参加しました！

みかん班

会議は早速現時点のプレゼン発表。

トップバッターとしてみかん班が「小長井の特産を活かしたファストフードの販売」を発表。みかんなどのフルーツ、牡蠣、あさりなど、小長井の特産物を使ってフルーツサンドや牡蠣ホットドッグ、かきあげクン(!?)として手軽に食べられるもので、「KONAGAI」をブランド名にしてま



すでに完成度の高い発表！

アピールと小長井への誘客を目指すアイデアです。

しょっぱなから完成度の高さにぎわつく会場。

みかん班からは他にも小長井文化ホールで「コナカフェ」や「フルーツトロリーバス」のアイデアも出され、本番のプレゼンが楽しみなアイデアばかりでした。



こんなバスに乗ってみたい
(イメージです)

メロン班

続くメロン班からは「グランピングIN小長井」が発表されました。山茶花高原のリニューアルに合わせてグランピング施設を設置、フルーツバス停型のテントやバス停標識型の部屋番号などとてもワクワクする映えスポットに泊まれ、昼間はブルーベリーやいもんこ、牡蠣やみかんなど、小長井の特産品を収穫する体験ツアーを組み合わせ、食事は自分でとった食材を使ったバーベキューなど、すでに行ってみたくなるすっごく「ととのう」案が出されました！



ハーブ園のハーブを使ったサウナの案も



テントのデザインについて

+

フルーツバス停をモチーフにした、テント

+

小長井のロゴをテントにつけるなど、小・中学生などにデザインしてもら

こんなテントあったら即予約です。映える～♡

🍓 いちご班 🍓

続くはいちご班。いちご班のリーダーは事業案が出た第3回と第4回を所用で欠席しながらもリーダーになった異色の(?)リーダー。不安を抱えながらも渾身の「空き家有効活用事業」を発表しました。役所っぽいお堅い事業名とは裏腹に、空き家を活用した**空き家案内所、移住体験、子育て支援、企業誘致、販売店誘致(スタバ希望)**など、メロンレンジャーも登場させながら発表し、会場をわかれました！



働く場も増えればいいですね
(イメージです)



子育て世帯増えればいいですね
(イメージです)

加藤教授からも、子育て世帯が入って、コミュニティーが出来、仕事を作っていく、企業を増やすという、**過疎地からまちを再生する夢のある計画**だとお墨付きをもらいました。今後も期待大のアイデアです。

🍅 トマト班 🍅

最後はパワポ資料を作ってくれたメンバーが急遽インフルで来れなくなり、ひとりぼっちだったトマト班のリーダーから「**小長井駅弁化計画**」の発表。先日、長大生と諫高生が作った牡蠣の駅弁がメディアでも話題となる中、牡蠣とアサリを使った**釜めしとぬっぺ汁**で差別化を図り、**フルーツバス停型の弁当箱**に入れ、諫早駅や長崎駅で販売し、小長井に観光客を誘導するという全く新しい戦略です！

さらに**伝統を守る地元のおばあちゃん**と、最近小長井公民館講座で、小長井牡蠣のパエリアや赤米クッキーなど次々と**新風を巻き起こしている地域おこし協力隊の伊藤さんと下崎さん**がコラボして、新たな商品開発。

さらにさらに牡蠣1グランプリやアサリ1グランプリでB級グルメを競い合い、**受賞グルメを駅弁化**するという飽きさせない仕掛けなど、早くも駅弁界を席卷する予感のアイデアです。



発表からコメントまで一人でこなします



データがプロジェクターに投影できず、みんなで取り囲みます

前回の事業計画書を考えた会議から1か月という短い期間だったのに、どの班も驚きの完成度でプレゼンテーションのアイデアをまとめていました。

これから最終の調整に入り、プレゼン本番ではきっと**市長に響くアイデア**となりそうです。

皆さんでつくりあげていきましょう！